

【政治】

14 日：市政府常務会議開催、危険化学品等の安全検査活動開始を決定

14 日、肖盛峰市長は市政府常務会議を開催し、大連市全域における危険化学品等の安全検査活動を開始すると発表した。当検査活動は、天津港で発生した爆発事故を受け、国務院安全生産委員会が発表した危険化学品の管理状況検査に関する緊急通知に基づき行われるもので、常務会議は市内各地・各部門に対し検査活動の指導グループを組織することを要求した。（15 日付大連日報 1 面）

14 日：第 15 期大連市政府第 38 回常務会議開催

14 日、肖盛峰市長の主宰により、第 15 期大連市政府第 38 回常務会議が開催された。会議では、「市民サービスホットライン 12345 へのクレーム・通報対応法」、「医薬・衛生制度改革に関する実施意見」、「個人商工業者の企業へのグレード・アップを支持する実施意見に関する補足意見」をそれぞれ審議・採択した。個人商工業者の法人化は市場環境の最適化、公正競争の促進などにつながり、民営経済の秩序ある発展を促す効果が期待されている。（15 日付大連日報 1 面）

17 日：唐軍書記、新疆兵団八師石河子市党政代表団と会見

17 日、唐軍書記は徐志新・新疆生産建設兵団党委常務委員、八師石河子市党委書記、八師政協委員が率いる八師石河子市党政代表団一行と会見。徐志新常務委員は大連市の新疆地区に対する各方面の支援に感謝を表明し、大連市と八師石河子市はともに「一帯一路」政策の要所であり、今後更なる協力関係を築いていきたい旨発言した。（18 日付大連日報 1 面）

18 日：大連市党委員会常務会議開催

18 日、市党委員会は常務会議を開催し、習近平総書記と李克強総理の「天津港 8.12 瑞海公司危険品倉庫特別重大火災爆発事故」に対する重要指示、及び李希遼寧省党委書記の重要指示の精神を学習し、省党委、省政府の要求に従い、大連市における安全生産確保のための各種政策を展開していくことを確認した。（19 日付半島辰報 A12 面）

18 日：唐軍書記・肖盛峰市長、危険化学品等を扱う企業を訪れ安全状況を検査

18 日、唐軍書記と肖盛峰市長はそれぞれチームを率い、市内の危険化学品等を取り扱う企業を訪れ、生産・運輸活動の安全状況を検査した。唐軍書記と肖盛峰市長は関係各部門に対し、天津港における爆発事故を教訓とし、省党委、省政府の要求に従い、危険化学品等に対する安全検査活動を展開し、人々の生命財産の安全を確保するよう要求した。（19 日付半島辰報 A12 面）

19 日：李希遼寧省委書記、重大事故の発生を断固として防ぐよう大連市幹部に指示

19 日、李希遼寧省党委書記が大連市を訪れ、大連市の安全生産状況、特に危険化学品等の貯蔵・運輸管理に対し検査と調査研究を行った。大連市党委の唐軍書記も検査活動に参加し、大連市の安全生産状況を報告した。また、李希遼寧省党委書記は座談会を開催し、習近平総書記と李克強総理の天津港爆発事故に対する重要指示の精神を貫徹し、大連市の安全生産状況を分析し、更なる施策を展開していくよう要求した。（20 日付半島辰報 A13 面）

19日：肖盛峰市長、市内の都市開発重点プロジェクトの進捗状況を視察

19日、肖盛峰市長は市内各地を訪れ、都市開発重点プロジェクトの進捗状況に対し実地調査を行った。肖盛峰市長は関係各部門に対し、プロジェクトを早期完成させ、大連市民に一日でも早く利益をもたらしてほしいと要求した。(20日付半島辰報 A13面)

20日：国家行政学院、大連市を含めた国家計画単列都市の「直轄市化」を提案

20日、国家行政学院の「行政レベルと行政区画の最適化研究」課題チームの「行政レベルと行政区画設置の最適化をどうしても行わなければならない」と題された文章が、上海社会科学院が主催する「社会科学報」の第一面に掲載された。文章は、中国の工業化、都市化の発展状況に鑑み、国家単列都市である大連、青島、深圳の行政を省による管理から国務院の直接管理に切り替え、新たに直轄市とすることの必要性を指摘している。(21日付新商報 A13面)

20日：肖盛峰市長、市内の駐車場建設プロジェクトの進捗状況を視察

20日、肖盛峰市長は市内各地の駐車場建設プロジェクトの進捗状況に対し調査研究を行い、今後必要となる施策に対し具体的な要求を行った。肖盛峰市長は関係各部門が更なる責任感を持って各プロジェクトをより完璧なものとし、都市管理のレベルを更に向上させ、交通環境と市民の外出条件を改善していくよう強調した。(21日付新商報 A13面)

20日：大連市、市全域において危険化学品と都市ガスに対する安全検査活動開始

20日、大連市安全生産監督管理局は、危険化学品の生産、経営、貯蔵に関わる各地域の安全生産監督管理局及び関連企業を組織し、危険化学品と都市ガスに対する特別安全検査活動をスタートさせた。当活動は、今後危険化学品の生産、運輸、貯蔵の状況、災害発生時の対応マニュアルの内容、危険化学品貯蔵場所と公共施設との間の距離等に対し重点的に検査を行っていく。(21日付大連日報 2面)

【経済】

14日：肖盛峰市長、サムスングループ中国区の張元基総裁と会見

14日、肖盛峰市長は棒棗島賓館にてサムスングループ中国区の張元基総裁一行と会見を行い、今後の協力関係強化等の問題に対し意見交換を行った。肖盛峰市長は、今後サムスングループと製薬、半導体、介護、健康、旅行等の分野において協力関係を深めていきたいと述べた。(15日付大連日報 1面)

15日：大連市、大連国際航空経済区の総合開発について広東竜浩グループと合意

15日、唐軍書記と肖盛峰市長は広東竜浩グループ趙継光総経理一行と会見、市政府と竜浩グループによる「大連国際空港経済区総合開発合作レジーム協議」の調印式に出席した。広東竜浩グループと大連市は瓦房店大平湾に大連国際空港経済区を建設し、今後同経済区を国際的な物流センターに発展させていく予定。(16日付大連日報 1面)

17日：第14期市工商連合第8回常務委員（拡大）会議開催

17日、第14期市工商連合第8回常務委員（拡大）会議が開催され、「両先区（先行区と先導区）」建設のスピードを速めていくため、知恵と力を結集していくことを確認した。(18日付大連日報 1面)

20日：大連市、2015年の給与増加の上限を12%、下限を3%と確定

20日、市政府は遼寧省人力資源社会保障庁の通知を転載し、大連市における2015年の企業給与増加の上限を12%、基準値を8%、下限を3%と発表した。こうした「給与指導値」は企業で働く職員の給与分配に適用される（本事務所注：指導値は政府が企業に示す一種の提案であり、企業に対し強制的な拘束力はないが、労資間での話し合いや合理的給与水準確定のための参考として用いられる）。（21日付大連日報1面）

【社会・文化】

17日：大型クルーズ船「中華泰山号」、大連港を母港として初出航

17日、中国初となる完全中国資本の豪華クルーズ船「中華泰山号」が大連港から日本・佐世保市に向けて出航した。当クルーズ船利用客はパスポートの提示のみ、ノービザで日本に入国することができる。（17日付大連日報2面）

17日：大連・丹東間で新たに高速鉄道が開通

大連・丹東間で新たに高速鉄道が開通する。当高速鉄道は大連北駅を始発とし、瀋陽南、本溪駅を経由し丹東駅へ到着、所要時間は約3時間半となる予定。具体的な開業日は今後メディアを通じて発表される。（17日付新商報A05面）

今年1月～7月の大連市観光総収入は約676億元、前年同期比で約13%増加

今年1月～7月の大連市観光総収入は前年同期比約13%増の約676億元となった。観光客の総数は延べ3,498万人となり、前年同期比で約8%増加した。大連市旅遊局は今後も各種政策を展開し、観光客の更なる増加を目指している。（18日付新商報A08面）

18日：「世界住みやすい都市ランキング」発表、大連市は第85位

英経済誌エコノミストの調査機関EIU(Economist Intelligence Unit)が18日に発表した「世界で最も住みやすい都市ランキング2015」で、大連市は第85位にランクインした。このランキングは世界140か国を対象に、「安定性」、「医療制度」、「文化・環境」、「教育」、「インフラ」の主要5項目を含めた30以上の定量項目を基準として各国にポイントを付与している。中国国内では北京（世界第69位）をはじめ、天津、蘇州等8都市がランクインした。（20日付半島辰報A05面）

【日本関連報道】

14日：「1945年を銘記する刊行物・実物展」、旅順万忠墓記念館にて展示開始

14日、旅順口区委員会宣伝部と旅順口区文化体育広播影視局が主催し、旅順万忠墓記念館と旅順収蔵協会が実施・開催を引き受けた「1945年を銘記する—大連解放区人民歓慶抗日戦争勝利刊行物・実物展」の展示が旅順万忠墓記念館にてスタートした。本展覧は刊行物展と実物展によって構成され、刊行物展では54枚のパネルが、実物展では129点のコレクションがそれぞれ展示されている。展示は10月7日まで行われる予定。（15日付大連日報2面）

抗日戦争勝利70周年をテーマにした書画展開催

先日、「熱血関東愛及び抗日戦争勝利70周年」をテーマにした書画展が金石灘文化博覧広場で行われた。本展覧では、軍隊書画家を中心とした全国16の省・市の有名画家による200点以上の作品が展示された。（15日付大連日報2面）

抗日戦争勝利 70 周年記念大型写真資料展スタート

先日、大連市老幹部活動センターと「新商報」が共同開催する中国人民抗日戦争及び世界反ファシズム戦争勝利と大連解放 70 周年を記念した大型写真資料展が市老幹部活動センターにてスタートした。本展覧は「歴史を銘記し、先人の功績に思いを馳せ、平和を愛し、未来を切り開く」をテーマに、主催者側が心を込めて画策し、広範に収集し、綿密に配置した貴重な写真資料 116 点を展示している。展示は 9 月 8 日まで行われる。(15 日付大連日報 2 面)

14 日：沙河口区抗日戦争勝利 70 周年記念「百日百回」リレー公演始まる

14 日夜、沙河口区中山公園にて抗日戦争勝利及び世界反ファシズム戦争勝利 70 周年を記念した「百日百回」リレー公演がスタートした。沙河口区地域コミュニティから 14 団体 200 人以上の演者が集まり、多種多様な芸術形式にて先人の抗日精神を想い、中国人民の不屈、奮起の民族気節を歌い上げた。本活動の開催期間中、沙河口区内の各地区から集まった 116 団体約 5,000 人のボランティアが区内の部隊、企業、学校、コミュニティ等を巡回し、100 回のリレー公演を行う予定。(16 日付大連日報 4 面)

15 日：「民盟東北副省級都市抗日戦争勝利 70 周年記念書画巡回展」開幕

15 日、「民盟東北副省級都市抗日戦争勝利 70 周年記念書画巡回展」及び「民盟大連ギャラリー」の開幕式が大連市図書館にて行われた。本書画巡回展は民主連盟瀋陽市委、ハルビン市委、大連市委、長春市委が共同で開催したもので、「歴史を銘記し、平和を愛する」をテーマに 4 都市にて巡回展示を行う。大連での展示は 15 日、16 日の 2 日間に亘り行われる。(16 日付大連日報 4 面)

「九一八事変（柳条湖事件）」が計画された関東軍司令部跡地、現在は博物館に

「九一八事変（柳条湖事件）」は旅順太陽溝万楽街 10 号にあった旧関東軍司令部で計画され、現在その場所は「関東軍司令部跡地博物館」として生まれ変わり、文字、写真、実物等の形式で関東軍の成立から消滅までの歴史・罪を再現している。(17 日付大連日報 8 面)

「大連市メディア界抗日戦争勝利 70 周年記念書画撮影展」展示開始

18 日、大連市中華全国新聞工作者協会、老新聞工作者協会、大連市新聞撮影学会が共同開催する「大連市メディア界抗日戦争勝利 70 周年記念書画撮影展」の展示が大連報業ビル 9 階にてスタートした。今月末から大連テレビ局ビルにて本展覧の巡回展が行われる。(19 日付大連日報 1 面)

「勝利の日」、22 日から大連テレビ総合ニュースチャンネルにて放送開始

抗日戦争勝利及び世界反ファシズム戦争勝利 70 周年、大連解放 70 周年を記念し、大連テレビ局が制作した大型テーマ番組「勝利の日」が 22 日 19 時 35 分から大連テレビ局の総合ニュースチャンネルにて放送される。同番組は「暗夜の灰燼」、「黒煙鉄焰」、「地獄烈火」、「雷の夜明け」、「曙光の召喚」の全 5 話で構成され、放送時間は毎話 45 分、22 日から毎晩 1 話ずつ放送される。(21 日付大連日報 1 面)

(注) 8月15日～21日の大連日報、半島晨报、大連晩報、新商報の記事をもとに作成。